

東伊豆町は、静岡県伊豆半島東海岸の中央に位置し、天城の山並みを背に伊豆大島をはじめとした伊豆七島を望み、豊かな自然に恵まれた人口12,086人(令和元年12月31日現在)高齢化率45.7%の小さな温泉まちで海沿いにある6つの温泉郷(大川温泉・北川温泉・熱川温泉・片瀬温泉・白田温泉・稲取温泉)がある。江戸城築城のために、たくさんの築城石が東伊豆から切り出されて舟で運ばれた。この奈良本地区に築城石を人力で引いて運ぶ『御石曳』の様子を再現した祭りである「石曳き道灌祭り」の熱川温泉(3,147人)がある。

「小地域福祉活動」と位置づけられている「ふれあいきいきサロン」(各地区ボランティア)が、社協各支部、民生委員・児童委員、ボランティア連絡協議会や元保健委員等と連携し、7地区(大川、北川、奈良本、片瀬、白田浜、湯ヶ岡、稲取)の公民館やいきいきセンターで行われている。



築城石がある2月の奈良本公民館

奈良本地区ふれあいサロンは奈良本在住者(65歳以上)を対象に地区のボランティア15名が中心となって奈良本公民館で月1回活動している。このサロンは地域の中で友達づくり仲間づくりを進めることを目的に、民生委員・児童委員が中心となって会員制でなく自由に参加できる運営をしている。今年度のサロン活動は、文化関係(カラオケ大会、絵本の読み聞かせ、音楽レクリエーション、ひな祭り、日舞)、運動関係(クロスカントリー、スカットボール・フライングディスク)、地域コミュニティ関係(交通安全・日常防犯、クリスマス会、新年会)と盛りだくさんだ。この町で最も長く活動しているサロンで今年が17年目になるそうだ。

「17年前の11月に当時の民生委員6名でサロンを立ち上げたが『なあ～に働けるんだから、そんなところへ行かなくていいんだ』と言われた。確かに65歳以上の人だけど、出てくる人は少ないんですよ。けど、やれるだけやってみようかと思って『来月もやりますよ』と言ったら、来てくれて、じゃ～頑張ってみようかと始めた」と小林正子代表(75)が話した。そして、区長さんの応援もあって沢山の人が集まった。6年後に田町(稲取地区)、そして、大川、北川、湯ヶ岡、片瀬、白田浜の全地区が立ち上がった。

現在もこのサロンを立ち上げた仲間と元気に活動している。

#### ちょっと遅い新年会

令和2年1月31日(金)(11:00-14:30)に参加者9名、スタッフ15名でちょっと遅い新年会が小林代表の挨拶から始まった。

最初に、「はじめの言葉」と題して、野崎先生(88)(元国語の先生だったのでこう呼ばれている)から節分、立春、春節について、ちょっと一言があった。

久保田さんのハーモニカ伴奏でいくつかの童謡を大きな声で合唱した。そして、1月生まれの方(6名)の誕生日を祝った。殆ど86～88歳の方で、「いつの間にか、88歳になっちゃったわ」と笑顔で挨拶した。

町役場の保健師さんが活動前に血圧測定して全員の健康状態をチェックした後、健康相談、役場からの健康マイレージ、新型コロナウイルスの対応について連絡した。

#### 新年のお祝いに花寿司のおせち料理



[昼食\(花寿司\)を準備している女性スタッフさん](#)



[おせち料理について説明する小林さん](#)

公民館にある調理室で女性スタッフ(15名)は、朝から昼食(花寿司のおせち料理)を準備していた。「新年のお祝いに花寿司(梅・松・桜)、黒はんぺんのお吸い物、和え物だけを用意するつもりだったが、里芋が沢山取れたからと言って煮物(絹さや、里芋、人参)を、ストーブを焚いているから煮豆を、ブロッコリーが取れたから茹でたブロッコリーを、漬物の代わりにダイダイの果汁で作った紅白なますを持ってきてくれて有難いね」と小林さんが嬉しそうに話した。



[花寿司のおせち料理「いただき～ます」](#)

この地域は店に売っている出来合いのものを食べている一人暮らしの人が多。みんなと一緒に食べると美味しいので食事を出すようにしたとか。これまで続いたのはボランティア活動をしてくれる人が多いからだ。スタッフと言っても、参加者の中から元気のいい人が手伝っている感じで、どちらかと言えば、年齢では参加者側になる。「みんな、そんな気持ちで助けてくれるのがうれしい。私も役に立っている間は頑張りたい」と小林さんが話した。

参加費は食事の時500円、お茶の時200円(スタッフも含む)

午後はEGボール(Enjoy Gate Ball)を楽しむ



[EGボールを楽しむ皆さん](#)

参加者12名、2グループに分かれて6名で東伊豆町発祥の軽スポーツのEGボールが行なわれた。皆さん、ゲートボール、グランドゴルフの経験のない人達であったのでボールの打ち方を知らなかった。簡単な説明を聞いてプレーを開始した。ゲートボールはスタート位置から4m離れたゲートを1回で通過しないと競技に参加できない。そのためプレーをしないで競技が終わる人がいるが、EGボールはこのよう

制限がないので誰でもすぐに楽しくプレーができる。  
「とても楽しかったので、また、やりたい」という声が多かった。

運動の後、おやつタイム



[運動の後、もぐもぐタイム](#)

EGボールでひと汗かいた後は、地元のみかんと美味しいどら焼きで楽しく笑顔の『もぐもぐタイム』。

— 対応していただいたスタッフの皆様、お世話になりました&美味しい花寿司のおせち料理とおやつご馳走様でした。 —

取材：生きがい特派員 東・南・西伊豆地区担当 白神時雄

[東伊豆江戸城築城石石工場](#)